

平成25年度 南三陸国道事務所の事業概要について

平成25年度東北地方整備局「南三陸国道事務所」管内の事業概要をお知らせします。

三陸沿岸地域の早期の復興を図るため、復興のリーディングプロジェクトとして、三陸沿岸道路、釜石花巻道路の1日も早い開通を目指し、地域一体となって事業を進めて参ります。

【平成25年度予算】

南三陸国道事務所の予算配分額

(単位：百万円)

区分	平成24年度 当初予算	平成25年度 当初予算
復興庁計上分	27,220	30,480

※事業費は、業務取扱費を除く金額で記載。

【平成25年度開通予定箇所】

国道45号 三陸沿岸道路（高田道路）

陸前高田IC～通岡IC間：4.1km開通予定（2車線）

【発表記者会】

岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 南三陸国道事務所

〒026-0301 釜石市鶴住居町第7地割13-7 (代表) 電話：0193-28-4731

副 所 長 森 日吉 (内線204)

工務課長 田口 和弘 (内線411)

南三陸国道事務所のホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html>

1. 平成25年度当初予算の概要

三陸沿岸地域の早期の復興を図るため、復興のリーディングプロジェクトとして、三陸沿岸道路、釜石花巻道路の1日も早い開通を目指し、地域一体となって事業を進めて参ります。

(単位:百万円)

区分	平成24年度 当初予算	平成25年度 当初予算	伸び率 H25/H24
復興庁計上分	27, 220	30, 480	1. 12

※事業費は、業務取扱費を除く

2. 事業の概要

【平成25年度 完成・開通予定事業】

事業 区分	事業名	市町村名	完成・開通 目標年度	H25事業費 (百万円)	H25事業内容
道路	国道45号 さんりく たかた 三陸沿岸道路(高田道路)	りくぜんたかた 陸前高田市 おおふなと ～大船渡市	H25	842	陸前高田IC～通岡IC間開通 (全線2車線開通) 改良舗装工事

【継続事業】

事業 区分	事業名	市町村名	完成・開通 目標年度	H25事業費 (百万円)	H25事業内容
道路	国道45号 さんりく からくわきた りくぜんたかた 三陸沿岸道路(唐桑北～陸前高田)	けせんぬま 気仙沼市(宮城県) りくぜんたかた ～陸前高田市	—	6,800 (岩手県分)	調査設計、用地補償、 改良・橋梁工事
道路	国道45号 さんりく よしはま 三陸沿岸道路(吉浜道路)	おおふなと 大船渡市	—	3,250	調査設計、 改良・橋梁・トンネル工事
道路	国道45号 さんりく よしはま かまいし 三陸沿岸道路(吉浜～釜石)	おおふなと 大船渡市 かまいし ～釜石市	—	5,500	調査設計、用地補償、 改良・橋梁・トンネル工事
道路	国道45号 さんりく かまいしやまだ 三陸沿岸道路(釜石山田道路)	かまいし 釜石市 しもへい やまだまち ～下閉伊郡山田町	—	9,338	調査設計、用地補償、 改良・橋梁・トンネル工事
道路	国道283号 かまいしはなまき かまいし かまいしにし 釜石花巻道路(釜石～釜石西)	かまいし 釜石市	—	4,750	調査設計、用地補償、 改良・橋梁工事

国道45号 三陸沿岸道路(高田道路)

H25:842百万円

開通

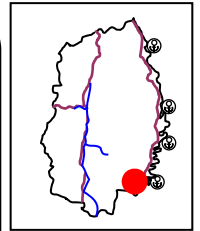
岩手県陸前高田市～大船渡市

道路

直轄

【事業の概要】

国道45号 三陸沿岸道路(高田道路)は、三陸縦貫自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の復興を図る自動車専用道路で、高規格幹線道路ネットワークを形成する道路です。平成20年度には延長3.4kmを2車線で部分開通しています。



【整備効果】

- ・東日本大震災被災地の早期復興に寄与します。
- ・東日本大震災時、陸前高田市街地部の国道45号は津波被害により通行不能となっており、高田道路が開通することで、災害時の緊急輸送路が確保され、救援・復興支援活動における速達性・安全性の向上が図られます。



▲陸前高田市内の被災状況



▲国道45号気仙大橋被災状況

【平成25年度の事業内容】

全線2車線開通に向け、改良舗装工事等を実施します。

国道45号 三陸沿岸道路(吉浜道路)

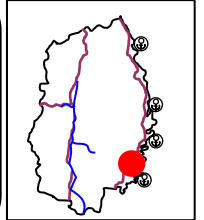
H25:3,250百万円

開通予定：—

継続	岩手県大船渡市	道路	直轄
----	---------	----	----

【事業の概要】

国道45号 三陸沿岸道路(吉浜道路)は、三陸縦貫自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の復興を図る自動車専用道路で、高規格幹線道路ネットワークを形成する道路です。



▲羅生トンネル北口における切土法面崩落(H14.7.11)

【整備効果】

- ・東日本大震災被災地の早期復興に寄与します。
- ・当該区間の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、現道の危険箇所を回避し、災害時における緊急物資の円滑な輸送の確保が図られます。

【平成25年度の事業内容】

早期開通に向け、越喜来高架橋上部工、吉浜高架橋上部工、吉浜トンネル工事及び(仮)三陸IC改良工事を推進します。

南三陸国道事務所管内 事業箇所位置図

